

# 近現代

Modern Times

## 明治初期の幣制混乱 [明治元年～]

明治政府は欧米先進国にならない近代国家の建設を急いだが、当初は通貨制度を整備するまでのゆとりはなく、幕藩時代の金銀銭貨、藩札などをそのまま通用させる一方、自らも「両」単位<sup>きんめ</sup>の貨幣、紙幣を発行し、また民間の富商に設立させた為替会社<sup>かわせ</sup>にも紙幣を発行させた。

このため各種通貨間の交換比率は非常に複雑となり、しかも銀目建て(秤量銀貨による金額の表示)の廃止により関西で銀目手形<sup>ぎんめ</sup>\*の引換えが殺到して両替商の倒産が続出したり、さらには偽造金貨・紙幣が横行するなど、通貨制度は混乱をきわめた。

\*銀目手形とは、両替商の振り出した秤量銀貨建ての手形で、大坂を中心に商取引の決済手段として、今日の銀行の自己宛小切手のように流通していた。

## Confusion of the Currency System in Early Meiji Era [1868～]

During several years immediately after the Meiji Restoration, the new Government was not yet ready to set up a modern currency system, and allowed gold, silver and copper coins, also feudal notes issued in Yedo Period to circulate as before. At the same time, the Government issued coins and paper money denominated in “Ryo”, a currency unit of Yedo Period, and moreover granted private banks called “Kawase Kaisha” (Exchange Firms, established by wealthy merchants) to issue their own paper money.

Under these circumstances, the existence of complicated conversion ratios between different currencies and widespread counterfeiting of gold coins and paper money put the currency system into chaotic confusion.

## 明治維新直後の貨幣

Currencies Issued Immediately after the Meiji Restoration

### 旧形式の貨幣

Temporary Issued Old Type Coins



貨幣司二分金

Kaheishi Nibukin (Gold)

明治元年/1868

(左)表面、(右)裏面/(L)Obv.(R)Rev.



貨幣司一分銀

Kaheishi Ichibugin (Silver)

明治元年/1868

(左)表面、(右)裏面/(L)Obv.(R)Rev.



貨幣司一朱銀

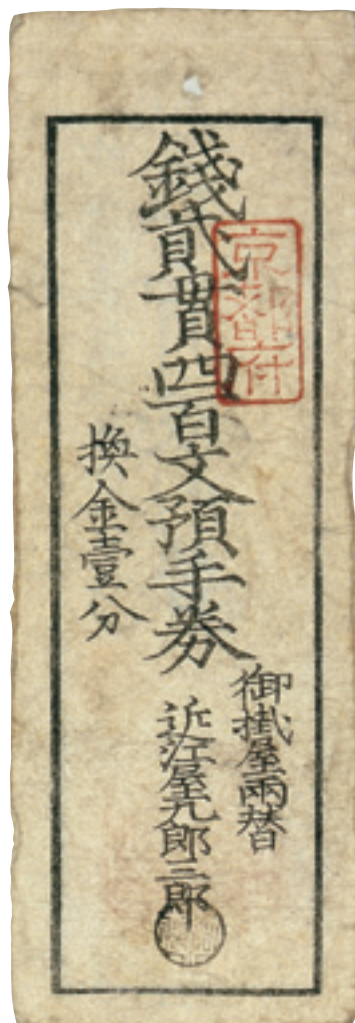
Kaheishi Isshugin (Silver)

明治元年/1868

(左)表面、(右)裏面/(L)Obv.(R)Rev.

### 府県藩札

Local Paper Money



京都府札

Kyoto Provincial Note 明治元年/1868



丹波園部藩札

Sonobe Provincial Note 明治元年/1868

政府紙幣  
Government Note

だ じょうかんきつ  
太政官札  
Gold Note Issued by the Cabinet 明治元年/1868

維新直後の政府紙幣

確固たる財政基盤をもたなかった明治政府は、国庫の窮乏を補填するとともに、各藩や民間に殖産興業資金を貸し出すため、明治元(1868)年「太政官札」を発行した。

しかし、この政府紙幣は、新政府の権威が確立していない段階で発行され、兌換準備や発行額の制限もなかったため、その価値は著しく下落して幕末以来の幣制混乱に一段と拍車をかけた。



(左)表面、(右)裏面/(L)Face, (R)Back



為替会社紙幣

政府は明治2(1869)年、内外商業の振興を目的として、江戸期以来の富商を中心に通商会社と為替会社を各8社設立させた。

為替会社は、商業取引の円滑化を任務とした通商会社を金融面から支援することを目的とし、紙幣発行のほか、預金、貸出、為替、両替などの業務を行った。これらは一時かなり活発に活動したが、やがてほとんどが多額の損失を生じて衰退し、国立銀行が設立されるに及んで、あいついで廃業した(横浜為替会社のみは第二国立銀行に改組)。

為替会社は、その名称自体が“Bank”の訳語であり、わが国近代銀行事業の始まりといわれる。

東京為替会社紙幣(金一両券)  
Tokyo Exchange Firm Note  
明治2年/1869



横浜為替会社紙幣(洋銀10ドル券)

Yokohama Exchange Firm Note 明治5年/1872 120mm×200mm

(左)表面、(右)裏面/(L)Face, (R)Back







金百両券  
100 Ryo Note  
明治2年/1869



洋銀50枚券 (不発行)  
Unissued Note for 50 Mexico Dollars  
明治2年製造/Prepared in 1869

裏面/Back

#### ヨーロッパにおける銀行の発達

中世のヨーロッパでは、金匠や両替商が預金、貸出、為替等の業務を行うようになり、こうした業務が原型となって銀行が発達した。12世紀にイタリアのジェ

ノアの両替商が営業に使用した「両替台」“Banco”が今日のBank、Banqueの語源といわれる。

17世紀頃には各地で銀行が設立され、

やがて銀行への預金を特定の人あるいは持参人に支払うことを依頼した小切手や手形が振り出され、預金が通貨としての役割を果たすようになった。

## 円の誕生 [明治4年～]

政府は欧州主要国が金本位制に移行していく傾向を眺め、明治4（1871）年「新貨条例」を制定し、金 1.5 g を 1 円とした近代洋式製法の新貨幣を発行し、貨幣制度の統一をめざした。

もっとも、太平洋周辺の銀本位諸国との貿易上の便宜をはかるため、貿易銀としての一円銀貨を製造し、これにもほぼ無制限の通用力を認めたので、実質的には金銀複本位制の採用とみられている。

## Birth of the Yen [1871～]

In the 19th century, an increasing number of major European countries had adopted the gold standard. Taking account of this trend, the Government enacted the New Currency Act of 1871, under which standard gold coins containing 1.5 grams of pure gold per 1 yen were minted by modern western production methods.

In addition, to facilitate trade with countries on the silver standard around the Pacific Basin, silver coins for foreign trade were issued, and as they were in effect granted a status of legal tender, it can be said that a gold-silver dual standard was adopted.

## 新貨条例による貨幣

### Modern Type Coins Issued under the New Currency Act of 1871



二十円金貨

20 Yen (Gold)



十円金貨

10 Yen (Gold)



五円金貨

5 Yen (Gold)



二円金貨

2 Yen (Gold)



一円金貨

1 Yen (Gold)



西洋貨幣では元首の肖像を使用する例が多いため、天皇の肖像を採用する案もあったが、結局、中国で天子を象徴するとされる「竜」の図柄が、技術的に困難な小形のものを除いてすべてに採用された。貨幣面に刻まれた年銘は明治 3 年のものが少なくないが、発行開始は明治4年以降となった。



### 新貨条例

明治4(1871)年5月公布の新貨条例により、①金貨を本位貨幣として無制限に通用させ、銀貨と銅貨を補助貨幣とする、②「円」を基本とし円の1/100を「銭」、銭の1/10を「厘」とした10進法の単位を採用する、③貨幣は近代洋式製法による円形の打刻貨幣とすることなどが定められた。

### 円の起源

「円」の名の起源については次の諸説がある。

- ① 楕円形・方形・円形などの貨幣の形状を、すべて円形に統一することとしたので円と名づけた。
- ② 中国では、銀塊が重量単位の「両」で取引される一方、西洋諸国の円形銀貨が「洋円」と呼ばれていた。これが幕末頃わが国に伝わって、政治家・官吏などの間で金貨の単位「両」を「円」と呼ぶ習慣ができ、それを政府が採用した。
- ③ 英国香港造幣局の造幣機械を譲り受け、技術者も招いて香港銀貨と同重量、同品位の銀貨を製造することとした関係から、香港銀貨の「壹圓」(洋円1個の意味)という名称を採用した。



五十銭銀貨  
50 Sen (Silver)



二銭銅貨  
2 Sen (Copper)



一厘銅貨  
1 Rin (Copper)



貿易銀 (貿易用一円銀貨)  
1 Yen Silver Coin for Foreign Trade  
明治4年/1871

太平洋周辺地域では貿易決済にメキシコ・ドルなどの1ドル銀貨が使用されていたので、わが国も貿易上の便宜をはかるため、メキシコ・ドル銀貨とほぼ同一の品位・重量の貿易銀をつくり、開港場で無制限通用を認めるほか、一般の取引においても相互の話し合いで自由に使用してよいこととした。この貿易銀は明治11(1878)年に国内でも無制限に通用する本位貨幣とされたため、この時点でわが国は法制上「金銀複本位制」に移行したことになる。

(左)表面、(右)裏面/(L)Obv. (R)Rev.

明治維新直後に発行された太政官札は、いずれ新貨幣と交換されることになっていたが、新政府にはその余裕がなかった。さらに当時の財政事情の窮迫や新貨幣の不足などに対処して、政府は

次いで政府は、旧紙幣の回収を目的としてドイツに印刷を委託した「新紙幣」

(明治通宝札)を明治5(1872)年に発行し、明治11(1878)年に至り政府紙幣はこれに統一された。

## 各種政府紙幣



明治4年/1871

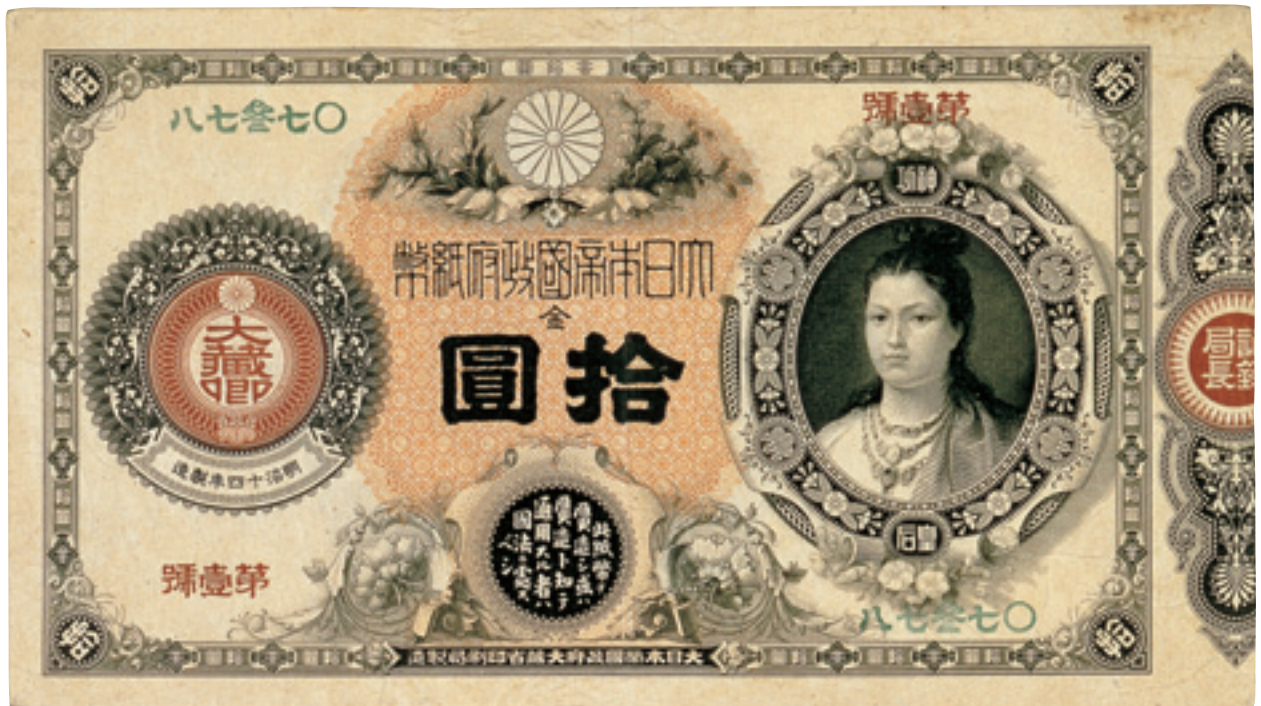


明治5年/1872

当初は、ドイツで印刷した紙幣に、日本で「明治通宝」の文言や官印などを補って完成した。明治10年以降はドイツから原版を取り寄せ、国内ですべての印刷が行れた。







改造紙幣「神功皇后札」  
“Empress Jingu Note”

明治16年/1883

「神功皇后札」は「明治通宝札」に偽造が多発したため、明治14年(1881、最初は一円券)以降改刷発行した政府紙幣。わが国初の人像入り、かつ女性肖像入り紙幣である。紙幣寮(現国立印刷局)の技術者であったイタリア人彫刻家キヨソネが原版を作成したため、肖像の風貌は外国女性風になっている。

新額面の大蔵省印を押捺した藩札  
Feudal Notes Stamped with  
a New Denomination  
by the Ministry of Finance

明治5年/1872



低額面の補助貨の製造が遅れたため、大蔵省(現財務省)は、新貨で5銭未満1厘までに相当する藩札に新額面印を押捺し、とりあえず流通させた。

1. 備中岡田藩札  
〈1匁札→9厘〉
2. 伊勢度会府札  
〈1匁札→1錢4厘〉
3. 阿波徳島藩札  
〈1匁札→8厘〉



1



2



3



## 国立銀行紙幣

政府は、民間に高まった銀行設立の気運を捉え、民間銀行に兌換銀行券を発行させることによって政府紙幣の回収と殖産興業資金の供給をはかろうとし、明治5(1872)年アメリカのナショナルバンク制度にならった「国立銀行条例」を制定した。この条例に基づく「国立銀行」として、当初4行が設立され、銀行券の発行を開

始した。

その後、明治9(1876)年の条例改正により事実上不換紙幣の発行が認められたことに伴い銀行数は増加し、明治12(1879)年末には153行を数えるに至った。これらの銀行が発行した紙幣は、いずれも同形式で、発行者名のみが異なっていた。

アメリカのナショナルバンクとは、国の法律に基づいて設立された民間銀行のことで、国営の銀行ではないが、わが国では当時「国立銀行」と訳された。



表面/Face



裏面/Back

## 国立銀行紙幣(旧券)

(十円券)

10 Yen Japanese National Bank Note (Old Style)

明治6年/1873  
80mm×190mm

初期の国立銀行紙幣(旧券)はアメリカの印刷会社に委託して製造された(発行銀行が頭取名、印鑑等を押捺)ため、その規格、デザイン、色彩などがアメリカのナショナルバンク紙幣(右ページ参照)に類似していた。





表面/Face



裏面/Back

アメリカのナショナルバンク紙幣  
(10ドル券)  
10 Dollars United States National Bank Note

1864  
80mm×190mm



国立銀行紙幣 (新券)  
Japanese National Bank Notes (New Style)  
明治10年/1877



一円券  
1 Yen Note



五円券  
5 Yen Note

## 新旧貨幣の交換

円単位貨幣の普及に伴い、江戸時代および明治初期の貨幣は、明治7(1874)年から概ね次のような規則で交換された。

### ①古金銀貨

品位等をもとに定められた引換え価格により新貨幣に交換。

### ②明治初期の両単位政府紙幣

金1両＝1円で「新紙幣」(明治通宝札)に交換。

### ③藩札、府県札

廃藩置県の際の発行高、引換え準備高(金銀貨の手持ち準備)をもとに定められた引換え価格により、新紙幣および小額貨幣に交換。

なお、旧銭貨は銅貨不足のため新貨幣単位に読みかえて通用させた。

## 旧貨幣「金1両」の引換え価格

●旧貨幣	●引換え価格
太政官札金一両	1 円
万延小判 1 枚	1 円30銭4厘
万延二分金 2 枚 *	1 円 8 銭6厘
万延一分金 4 枚	1 円30銭4厘
万延二朱金 8 枚	1 円 8 銭9厘
安政一分銀 4 枚 *	1 円24銭7厘
嘉永一朱銀 16 枚 *	1 円18銭4厘
* 維新政府の貨幣司が製造した貨幣を含む	

## 額面「金1両」の藩札の引換え価格(例)

●藩名	●引換え価格
尼崎	1 円
米沢	1 円
富山	98 銭
松代	88 銭9 厘
彦根	80 銭8 厘
高崎	71 銭4 厘
郡上	66 銭7 厘
弘前	53 銭3 厘
高知	33 銭3 厘
鹿児島	32 銭2 厘

## 特殊紙幣

### Special Paper Money in the Meiji Period



函館ブラキストン商社証券  
Blakiston, Marr & Co. Note  
明治8年/1875

明治8(1875)年函館のイギリス商人トーマス・ブラキストン(動物分布境界線の発見で有名)は事業資金調達のため紙幣を発行したが、政府は直ちにこれを停止させた。



### 新東洋銀行紙幣

The New Oriental Bank Note  
明治19年/1886

横浜所在の外国銀行が発行した紙幣で、中国貿易に使用されたといわれる。



さいこうさつ  
西郷札

Military Notes Issued by the Anti-Government Forces  
in the Seinan Civil War of 1877



軍務所札  
(1円)



承恵社札

明治10(1877)年西南戦争の際、金融業者が西郷軍の要請をうけて戦費調達のための紙幣  
(承恵社札)を発行し、のちに西郷軍も宮崎で自ら紙幣(軍務所札)を発行した。



表面/Face



裏面/Back

軍務所札  
(50銭)

### 日本銀行の設立 [明治15年～]

西南戦争の勃発(明治10年)に伴い、戦費調達のため政府紙幣や国立銀行紙幣が増発されたことなどから、激しいインフレが発生した。これは厳しい財政緊縮と紙幣の回収整理により収束されたが、その過程で、兌換銀行券の一元的な発行によって紙幣の乱発を回避し、通貨価値の安定をはかることの必要性が認識され、明治15(1882)年中央銀行としての日本銀行が設立された。

### Founding of Bank of Japan [1882～]

Severe inflation caused by the Seinan Civil War had subsided through reducing government spending and withdrawing over-issued paper money from circulation. In this adjustment period the need for stabilizing the value of money by centralizing the issue of convertible bank notes was widely recognized, and in 1882 Bank of Japan was founded as the central bank.

The first notes issued by Bank of Japan in 1885 were convertible into silver. Subsequently when the Government adopted the gold standard by enacting the Coinage Law setting 0.75 grams of pure gold as 1 yen in 1897, Bank of Japan notes convertible into gold were issued.



創業当時の日本銀行(旧北海道開拓使出張所の建物) 井上安治画「永代橋際日本銀行の雪」 First Site of Bank of Japan (By Y. Inouye)

### 日本銀行の開業

日本銀行は欧州先進国の中央銀行制度にならって設立され、明治15(1882)年10月10日、永代橋際の旧北海道開拓使出張所の建物を店舗として開業した。

発券制度が整備されるまでには、それ

からなお若干の時日を要したが、貨幣制度の統一と兌換制度確立の制度的基礎固めが行れたという意味で、日本銀行の創立はわが国経済近代化の礎石となった。

#### ●各国の中央銀行設立年

1668	スウェーデン	1875	ドイツ
1694	イギリス	1882	日本
1800	フランス	1893	イタリア
1814	オランダ	1913	アメリカ
1850	ベルギー		



#### 最初の日本銀行券

日本銀行の創立当時は紙幣と銀貨との価格差がなお大きかったが、その後の紙幣整理の進展などにより、紙幣の価値が銀貨とほぼ同程度に回復した。そこで日本銀行は、明治18(1885)年に銀行券の発

行に踏み切った。これは本位貨幣の一円銀貨と引き換えられる兌換銀券であった。

国立銀行紙幣と政府紙幣は明治32(1899)年末に通用停止となり、わが国の紙幣は日本銀行券に統一された。

#### 最初の日本銀行券「大黒札」

The First Note of Bank of Japan, Which Was Convertible into Silver



十円券

10 Yen Bank of Japan Note

明治18年5月9日発行/May 9, 1885



日本銀行券発行開始のころの一円銀貨

1 Yen Silver Coin

重量(Weight) 26.95g/品位(Fineness) 90%/1885

(左)表面、(右)裏面/(L)Obv. (R)Rev.

## 金本位制度の確立と日本銀行兌換券

19世紀後半における欧米諸国の銀本位制度離脱と世界的な産銀量の増加から、銀の金に対する価格が1890年代に入って著しく低下したため、事実上、銀本位制度下にあったわが国では、為替相場が

下落し、国内物価が上昇を続けることになった。

そこで、わが国も欧米先進国の大勢に従い、明治30(1897)年金本位制度を採用し、金0.75gを1円とする「貨幣法」を制

定した。これに伴い、金貨と引き換えられる「日本銀行兌換券」が発行された。

### 貨幣法による新金貨

Gold Coins Issued under the Coinage Law of 1897  
Containing 0.75 grams Pure Gold per 1 Yen

明治30年/1897

(左)表面、(右)裏面  
(L)Obv. (R)Rev.

#### 二十円金貨

20 Yen Gold Coin  
重量(Weight) 16.66g  
品位(Fineness) 90%



#### 十円金貨

10 Yen Gold Coin

重量(Weight) 8.33g/品位(Fineness) 90%



#### 五円金貨

5 Yen Gold Coin

重量(Weight) 4.16g/品位(Fineness) 90%

### ●各国の金本位制度採用年

1816	イギリス	1873	スウェーデン
1854	ポルトガル	1875	オランダ
1860	スイス	1876	フランス
1871	ドイツ	1877	フィンランド
1871	カナダ	1892	オーストリア
1873	アメリカ *	1897	日本
1873	デンマーク	1900	アメリカ

\* アメリカは1878~1899 金銀複本位制度

### 最初の金貨兌換券

The First Note Convertible into Gold of Bank of Japan



#### 甲五円券

5 Yen Bank of Japan Note

明治32年/1899



日本銀行兌換券  
Bank of Japan Note Convertible into Gold



表面/Face



裏面/Back

甲十円券  
10 Yen Bank of Japan Note  
明治32年/1899

## 金本位制度から管理通貨制度へ [大正6年～]

わが国は第1次大戦中の大正6(1917)年にアメリカなどに追随して金の輸出を禁止した。その後金融恐慌の発生などから欧米諸国に数年遅れたが、昭和5(1930)年1月にこれを再開した。

しかし、翌昭和6(1931)年イギリスが金本位制度を離脱したため、わが国も同年12月再び金の輸出を禁止し、日本銀行券の兌換は原則として停止された。

昭和16(1941)年には銀行券の発行が金の保有量に制約されないこととなり、その翌年の日本銀行法制定により法律上も兌換の義務がなくなって、わが国は名実ともに管理通貨制度へ移行した。

## From Gold Standard to Managed Currency System [1917~]

During World War I, our country prohibited the export of gold in 1917 following the example of the U.S.A. and other countries. Some years later, due to financial panic and other factors, in 1930 January gold was again allowed to be exported, although this was a few years after than European countries and the U.S.A.

However, when in 1931 Great Britain abandoned the gold standard, the export of gold was again prohibited, and the convertibility of Bank of Japan notes was suspended.

From 1941 the Bank was enabled to issue notes without any restriction from the gold holdings, and with the enactment of Bank of Japan Law in 1942, the legal obligation of convertibility came to an end. Japan formally shifted to a managed currency system.

## 大正年代の貨幣 Currency of Taisho Years



丙五円券  
5 Yen Bank of Japan Note  
大正 5 年/1916



五十銭銀貨  
50 Sen (Silver)  
大正 11 年/1922



十銭白銅貨  
10 Sen (Copper Nickel)  
大正 9 年/1920



五銭白銅貨  
5 Sen (Copper Nickel)  
大正 9 年/1920



一銭青銅貨  
1 Sen (Bronze)  
大正 5 年/1916

(上)表面、(下)裏面/(Top)Obv.(Blw.)Rev.



金融恐慌時に発行された緊急紙幣  
Emergency Note Issued for the Panic Run on Banks in 1927



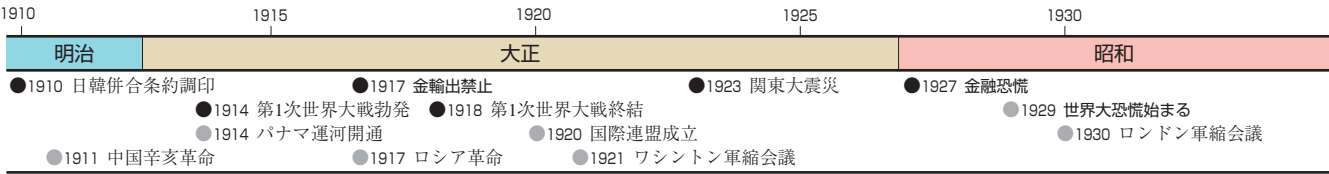
表面/Face



裏面/Back

乙二百円券  
200 Yen Bank of Japan Note (One Sided Printing)  
昭和 2 年/1927

昭和2(1927)年の金融恐慌時には、人々が預金の引出しに殺到する取付け騒ぎが拡がり、日本銀行券が不足したため、急速裏面の印刷を省いた二百円券が発行された。



# 昭和初期の日本銀行券

Notes Issued During the Short Return to the Gold Standard of 1930~31



乙百円券  
100 Yen Bank of Japan Note  
昭和 5 年/1930



丙十円券  
10 Yen Bank of Japan Note  
昭和 5 年/1930



日本銀行法の施行による兌換文言の消滅  
Notes Issued at the Time of Bank of Japan's Reorganization



兌換銀行券条例に基づく最後の日本銀行兌換券「い五円券」

5 Yen Bank of Japan Note

The Last Convertible Note

(Not Convertible in Reality as Conversion Was Suspended in 1931)  
昭和17年/1942

券面に兌換文言は記されているが、昭和 6 (1931)年以来兌換が停止されていたため、実際に兌換は行われなかった。



日本銀行法に基づく最初の日本銀行券「ろ五円券」

5 Yen Bank of Japan Note

The First Inconvertible Note, Printed after Bank of Japan's Reorganization

昭和18年/1943

## 戦時中の貨幣

日中戦争が拡大に向った昭和13(1938)年、「臨時通貨法」が制定され、以後法律改正を行うことなく新素材、新形式の補助貨幣を発行できるようになった。こうして素材を節約した小額貨幣・紙幣が次々に発行された。

日本銀行券についても、太平洋戦争末期には印刷様式を極度に簡略化したものが発行されるようになった。

### 臨時通貨法による小額貨幣

Coins and Notes Issued under the Temporary Currency Law of 1938, During the Wartime



十銭アルミニウム青銅貨  
10 Sen (Aluminum-Bronze)  
昭和13年/1938

(左)表面、(右)裏面/(L)Obv. (R)Rev.



十銭アルミニウム貨  
10 Sen (Aluminum)  
昭和15年/1940



十銭錫貨  
10 Sen (Tin)  
昭和19年/1944

小額政府紙幣(五十銭券)  
50 Sen Government Note  
昭和13年/1938



小額政府紙幣(五十銭券)  
50 Sen Government Note  
昭和17年/1942





小額日本銀行券  
Bank of Japan Note  
as Substitute for Small Coin  
昭和19年/1944

戦局の悪化により補助貨の素材金属が極度に不足してきたため、小額貨幣の代りに小額面の日本銀行券が発行された。

い十銭券  
10 Sen Bank of Japan Note

発行されなかった陶貨  
Unissued Ceramic Coins  
Prepared Towards the End  
of World War II  
昭和20年製造/1945



十銭  
10 Sen



五銭  
5 Sen

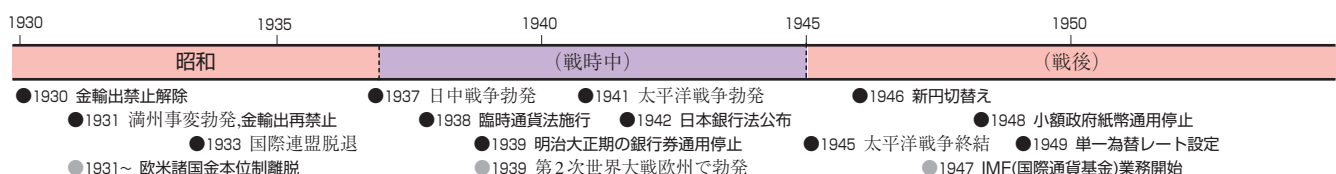


一銭  
1 Sen

太平洋戦争末期の昭和20(1945)年には、粘土と長石を原料とする陶貨がつくられたが、終戦となったため発行されなかった。



印刷様式を簡略化した日本銀行券「ろ十円券」  
10 Yen Bank of Japan Note  
昭和20年/1945



### 戦後のインフレーションと新円切替え

第2次大戦後わが国は、戦争によって多くの生産設備が失われていたうえ、終戦処理費として巨額の財政支出が行われたため、激しいインフレに見舞われ、国民生活は極度に窮乏した。これに対し政府は、昭和21(1946)年2月、5円以上の銀行券を強制的に金融機関に預入させ、既存の預金とともに封鎖して、一定限度内に限って新銀行券による払出しを認める非常措置、いわゆる「新円切替え」を実施した。

これにより銀行券発行高はいったん1/4に縮小したが、財政赤字が削減されなかったため、インフレは依然進行し、昭和24(1949)年の厳しい財政緊縮政策によって漸く克服された。



### 銀行券証紙

Stickers to Revalidate Notes  
Which Had Become Invalid  
under the Extraordinary  
Imperial Ordinance of Feb. 1946  
昭和21年/1946



### 証紙貼付銀行券

Revalidated Old Note with a Sticker  
昭和21年/1946

新円切替えで、従来の銀行券は、昭和21(1946)年3月2日限りで通用が停止され、3月7日までに金融機関に預け入れなければならないこととされた。

預金の払戻しなどに使用されるはずの新銀行券(2月25日発行予定)は、その製造が間に合わなかったため、応急措置として、証紙を貼った従来の銀行券が同年10月末までの間、新銀行券とみなされ流通した。



## 海外のインフレーション Inflation in the World

金属貨幣との関係を断たれた不換紙幣が登場してから、通貨が過度に増発されて物価が高騰するインフレがしばしば発生するようになった。歴史上、フランス革命やアメリカ南北戦争当時の紙幣乱発によるインフレが有名であるが、第1次大戦後のドイツ、第2次大戦時のギリシャ、ハンガリーなども、大インフレに見舞われ超高額面の紙幣を発行したことで知られている。



フランス[アッシニア紙幣]  
France  
Assignat Note, 1789–1796

フランス革命政府のアッシニア紙幣乱発により紙幣価値が急落し、1795年にはその実質価値の額面に対する割合は僅かに0.3%となり、受取り拒否さえ起こった。



表面/Face



裏面/Back

アメリカ[グリーンバックス]  
U.S.A.  
“Greenback”, Legal Tender Note, 1862  
80mm×190mm

政府は南北戦争の戦費調達のため紙幣を乱発し、1864年には金で表した1ドル紙幣の価値は35セントにまで低落した。





ドイツ[帝国銀行100兆マルク券]  
Germany  
100,000,000,000 Mark Reichsbank Note, 1923

第1次大戦後の巨額の賠償金支払いや国土の荒廃などからインフレが高進し、遂には100兆マルク紙幣も発行された(1923年末の卸売物価は戦前比1兆2,600億倍)。



ハンガリー[国立銀行10垓(10億兆)ペング券]  
Hungary  
1,000,000,000,000,000,000 Pengő National Bank Note, 1946

第2次大戦後、破局的なインフレに見舞われ、1946年8月旧通貨 $4 \times 10^{29}$  ペングが新通貨の1フォリントと交換された。